殺虫剤
クロチアニジン水和剤

ダントツ®フロアブル

農林水産省登録　第２１２５８号
（住友化学（株）登録）
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物 ：非該当
有効年限：３３３ｍℓ：５年　６.７ℓ：４年
包装：３３３ｍℓ×２０，６.７ℓ

有効成分：クロチアニジン（化管法第１種）・・・・・２０.０％

殺虫剤分類　４Ａ

ダントツ®は住友化学（株）の登録商標です。

特長
○本剤は、空中散布、無人航空機散布用に開発された製剤です。
○空中散布は微量散布、少量散布のいずれにも使用できます。
○有効成分のクロチアニジンは浸透移行性、残効性に優れ、安全性においても航空防除に適した成分です。
○稲の斑点米カメムシ類に対して優れた防除効果があり、ウンカ類・ツマグロヨコバイにも高い効果が あります。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	イナゴ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネドロオイムシ	５０００倍	６０～１５０ℓ／１０a	収穫７日前まで	３回以内	散布	４回以内（直播では種時又は移植時までの処理は１回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計３回以内）
	ウンカ類 カメムシ類	１２５０倍	２５ℓ／１０a				
	ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメムシ類	９０倍	３ℓ／１０a			空中散布	
	ウンカ類 カメムシ類	２４倍	８００ｍℓ／１０a			無人航空機による散布	
湛水直播水稲	イネミズゾウムシ キリウジガガンボ	原液	種もみ３ｋｇ当り７５ｍℓ／１０ａ	は種前	１回	塗沫処理	４回以内（直播では種時又は移植時までの処理は１回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計３回以内）
だいず	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	２５００～５０００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	散布	4回以内（は種時の土壌混和は１回以内、散布は３回以内）
	マメシンクイガ ダイズクキタマバエ	２５００倍					
	アブラムシ類 カメムシ類	２４倍	８００ｍℓ／１０a			無人航空機による散布	
ばれいしょ	アブラムシ類	５０００倍	１００～３００ℓ／１０a	収穫７日前まで	３回以内	散布	４回以内（植付時の土壌混和は１回以内、植付後は３回以内）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
さとうきび	サトウキビチビアザミウマ カンシャコバネナガカメムシ イナゴ類 カンシャワタアブラムシ	２５００～５０００倍	１００～３００ℓ／１０a	収穫３０日前まで	３回以内	散布	７回以内（植付時までの処理は１回以内、植付後の粒剤の処理は３回以内、水和剤の処理は３回以内）
	メイチュウ類	２５００倍					
	カンシャコバネナガカメムシ メイチュウ類	２４倍	2.4ℓ／１０a			無人航空機による散布	

使用上の注意事項

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
　〇ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
　〇関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
●稲に１２５０倍希釈で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●塗沫処理で使用する場合には、薬剤処理後のもみに過酸化カルシウム剤を湿粉衣してください。過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守ってください。
●本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
　〇各散布機種の散布基準に従って実施してください。
　〇少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具には使用しないでください。
　〇無人航空機による散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
　〇散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行ってください。
　〇散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
　〇水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
　〇作業終了後は次の事項を守ってください。
　　・使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
　　・機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
●眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

安全使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●長期間貯蔵しておくと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。
●使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

水産動植物に係る注意事項

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。